

報道機関各位

熊本大学

**「南九州・沖縄ユニット」熊本大学、宮崎大学、琉球大学と連携
子どもの健康と環境に関する全国調査（通称：エコチル調査）内定**

環境の汚染や変化が子どもの健康に影響を及ぼす可能性を明らかにすることを目的とした環境省による「子どもの健康と環境に関する全国調査（通称：エコチル調査）」が平成22年度からスタートします。全国約10万人を対象に、21年間（調査協力者募集3年、追跡調査13年、解析5年）を費やして調査する、我が国では初の大規模なプロジェクトです。熊本大学は、宮崎大学、琉球大学と連携し、「南九州・沖縄ユニット」として、全国15か所の調査機関候補地の一つとして、この度、内定を受けました。ユニットセンターは熊本大学大学院生命科学研究部に設置し、センター長である遠藤文夫教授（大学院生命科学研究部 生育再建・生殖医学講座）を中心として、継続的な調査を実施していきます。募集人数は、3年間で6,000名であり、熊本県内の調査対象地域は、水俣・芦北地域、天草地域、人吉・球磨地域の3地域です。

この調査で得られた成果は、子どもたちが健やかに育つ環境を実現するために役立てていきます。みなさまの末長いご協力をよろしくお願いいたします。

環境省 エコチル調査ホームページ <http://www.env.go.jp/chemi/ceh/intro/index.html>

～ 本件問い合わせ先～

熊本大学生命科学系事務部研究支援担当（担当者：河津）

電話 096-373-5657

大学院生命科学研究部 <http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp/>

医学部キャンパス：熊本市本荘1丁目1番1号